

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日： 2022年 12月 25日		事業所名：とんとん		サービス種類：放課後等デイサービス・児童発達支援	
区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	10名定員に合わせた支援室の確保及び予備室の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 43名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 3名/50名中</li> <li>・いいえ 2名/50名中</li> <li>・わからない 2名/50名中</li> <li>・見学に行った時は人数に対して少し狭いと感じたが実際はわからない。</li> <li>・コロナ対策を考えると少し狭いかと思います。</li> <li>・間取りがとても活動しやすい。</li> </ul>	活動状況に合わせた支援室の分散利用	
	2 職員の適切な配置	利用者10名に対して4名の職員を配置している。お出かけの際は利用者の安全確保のため4名以上配置している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 36名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 3名/50名中</li> <li>・わからない 11名/50名中</li> <li>・常に4人以上の職員の方が関わってくださっている。</li> <li>・専門性は分かりかねます（スタッフさんのプロフィールまでは知らない）</li> <li>・土曜の見学時は少ないと感じた。</li> <li>・専門性のところをもっと教えてほしい。</li> </ul>	配置基準を順守しつつ、当日利用児に見合った職員配置を行っている。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	完全なるバリアフリーは難しいが、できる限りの配慮は行っている。視覚的情報が入りやすいよう配慮している。また、聴覚障害者受け入れも手話対応を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 39名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/50名中</li> <li>・わからない 10名/50名中</li> <li>・家庭みたいな場所なので危ない所もあると思うので心配</li> <li>・自分の子に関しては大丈夫と思いますが、特別な支援が要る子に関してはわかりません。</li> <li>・シールなどを使ってパーソナルスペース等の確保がされている。配置がわかりやすく、動線が確保されている。</li> <li>・先生方はよくしてくださっていると思いますが実際見てないので...</li> </ul>	児に合った支援の状況により対応	

	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	コロナや感染症予防の徹底を行っている。 コロナ対応も含め、毎日の清掃、消毒を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 42名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 2名/50名中</li> <li>・わからない 6名/50名中</li> <li>・写真で見ると限りキレイに活動しやすい環境と思います。</li> <li>・掃除が行き届いており、清潔で完全な環境になっている。</li> </ul>	現状維持 コロナ終息後も変わらず同じ清掃、消毒を続けていく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	毎月の会議と研修で適時実施している。		日常的な評価の実施
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	見学等の受け入れ、保護者聞き取りにより改善		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月の会議と研修で適時実施している。		
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 50名/50名中</li> <li>・きちんと面談したのちに作って下さってるので、ありがたい。</li> <li>・日々のやり取りを通して保護者の思いを汲み取ってくださり、活動を通して子供をよく観察して下さっている。</li> <li>・いつも丁寧で適切な支援をしていただき感謝しております。</li> <li>・支援計画に基づいて、具体的な支援を設定して下さり、課題がクリアできるように支援していただいている。</li> </ul>	全職員によるモニタリング・カンファレンスの実施
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	実施している。		全職員によるモニタリング・カンファレンスの実施
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	実施している。		全職員によるモニタリング・カンファレンスの実施
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 48名/50名中</li> <li>・わからない 2名/50名中</li> <li>・支援計画に基づいて、具体的な支援を設定して下さり、課題がクリアできるように支援していただいている。</li> </ul>	全職員によるモニタリング・カンファレンスの実施

適切な支援の提供 (続き)	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月一回の会議で計画、立案している。		全職員で共有を進める。 コロナに配慮をした活動プログラムを行う。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日の閉所時もLINEなどの通信手段を導入し対応している。 土曜日や長期休暇は行事と平日に行っているプログラムを実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 48名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/50名中</li> <li>・わからない 1名/50名中</li> <li>・様々なプログラムがあり、いずれも積極的に参加したくなる内容で毎回悩む。</li> <li>・カレンダーを見るとそう感じる。</li> <li>・外での活動が少しでも増えたら...</li> </ul>	時間や利用児に合わせた支援内容を検討しプログラムを実施している
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	その都度意見交換し実施している。 各プログラム毎に担当を決めて二ヶ月毎に変更して固定化しない工夫を行っている。		都度見直しを行い固定化しないようにつ、その時々全体を見た支援内容を模索し実施している
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	連絡帳、経過記録、申し送りノート、ホワイトボードを活用している。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	連絡帳、経過記録、申し送りノート、ホワイトボード、LINEの活用して情報共有を行っている。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	複数職員によるチェックと確認をしている。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	適時実施している。		
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	適時実施している。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	なし		

関係機関との連携	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	適時実施している。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	適時実施している。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	コロナ感染予防により少なくなっているが実施している。		
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	適時保護者を通じて実施している。 コロナ禍の為難しいことが多かった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 14名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 4名/50名中</li> <li>・いいえ 10名/50名中</li> <li>・わからない 20名/50名中</li> <li>・未回答 2名</li> <li>・プログラムに交流はないが、幼稚園にも通っているので問題ない。</li> </ul>	必要に応じて保護者の許可を取って情報交換を行っていく。 地域との繋がりを持つことは継続し、コロナ終息後は交流できるようにしていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	例年地域のお祭り等に出店していたが、コロナの為中止している。		コロナの状況見て検討。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に主に行っている。送迎時などにも適時行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 49名/50名中</li> <li>・未回答 1名</li> </ul>	その都度必要な情報提供を行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	適時行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 48名/50名中</li> <li>・いいえ 2名/50名中</li> </ul>	事前説明をして適時行っていく。 より丁寧な説明ができるように心掛けていく。

保護者への説明責任・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	コロナ禍の為実施が難しいが、職員研修では実施。日常の支援に活かしている。保護者への研修は未実施だが、日常的にペアレントトレーニング含む相談、支援に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 24名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 5名/50名中</li> <li>・いいえ 13名/50名中</li> <li>・わからない 7名/50名中</li> <li>・未回答 1名</li> <li>・何かプログラムがあれば参加したい。</li> <li>・ペアトレは受けてみたいです。</li> </ul>	コロナの為、実施はしていないが、モニタリング等により提案はしている。要望が多ければ研修会を実施する。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時の申し送りや連絡帳保護者面談を通じて実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 45名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 5名/50名中</li> <li>・連絡票やLINEアプリを通じて常に情報共有、共通理解ができている。</li> </ul>	保護者と共有し、実施。情報収集し評価続ける。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時の申し送りや連絡帳を通じて実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 40名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 5名/50名中</li> <li>・いいえ 2名/50名中</li> <li>・わからない 2名/50名中</li> <li>・未回答 1名</li> <li>・もう少しノートのやりとりでアドバイスを書いてほしい（育児や育て方、その子にあった過ごし方など）</li> <li>・通い始めて日が浅いためわからない。</li> </ul>	保護者面談等で実施。必要に応じて適時面談を検討する。コロナ禍もあり頻繁に面談等を行うことは難しいが、送迎時の話し合いは引き続き行っていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	定期開催していたが、コロナ感染予防のため中止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 8名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 8名/50名中</li> <li>・いいえ 19名/50名中</li> <li>・わからない 13名/50名中</li> <li>・未回答 2名</li> <li>・何があるかわからない。知らない。</li> <li>・通い始めて日が浅いためわからない。</li> </ul>	コロナの状況に於いて開催を検討する。

7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	行政、関係機関とも連携を取り対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 30名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/50名中</li> <li>・わからない 19名/50名中</li> <li>・苦情、どんなものがあるか知らないです。手紙などにしてお知らせしてほしい。</li> <li>・今までそういうケースが無かった為わからない。</li> <li>・通い始めて日が浅いためわからない。</li> </ul>	社内の報・連・相の徹底及び必要に応じて保護者への連絡継続（個人情報に基づき）
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	LINEやメール、電話など、複数の通信手段の導入。聴覚障害児の参加をきっかけとした視覚支援、手話の導入など。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 45名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/50名中</li> <li>・わからない 4名/50名中</li> <li>・通い始めて日が浅いためわからない。</li> <li>・LINEがとても助かっている。</li> </ul>	現在実施している。今後も工夫していく。
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月行事予定のカレンダー配布し情報の発信を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 41名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 3名/50名中</li> <li>・わからない 5名/50名中</li> <li>・未回答 1名</li> <li>・HPや、いつも事前にくれるカレンダーでしていることがわかりやすい。</li> <li>・行事予定の配布物が大変見やすく、子供にもわかりやすい工夫がされている。</li> </ul>	毎月のカレンダーにて情報発信を行っており、それ以外の内容は別途書類にて行う。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	シュレッターを活用し、書類管理の徹底を行っている。 鍵付きの書庫を用意し管理している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 46名/50名中</li> <li>・わからない 4名/50名中</li> </ul>	現状通り行いつつ、適切に行えているか適時確認する。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	研修を行っている 研修結果を通信に記載している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 39名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/17名中</li> <li>・いいえ 1名/50名中</li> <li>・わからない 9名/50名中</li> </ul>	契約時に説明を行っている。 緊急時にはLINE等を使用し速やかに連絡できるようにしている。

非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年二回の社内研修で実施し、そこで徹底している。研修結果を通信に記載している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 29名/50名中</li> <li>・どちらともいえない 1名/17名中</li> <li>・いいえ 1名/50名中</li> <li>・わからない 18名/50名中</li> <li>・未回答 1名</li> <li>・避難訓練を受けたとの報告がないのでしてないのかな？と思う。</li> </ul>	避難場所などは契約時に説明を行っている。緊急時にはLINE等を使用し速やかに連絡できるようにしている。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年二回、研修で実施している。虐待防止委員会も設けて話し合いを行っている。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	虐待防止の研修を徹底し、身体拘束等の記載を徹底している。保護者に事前に了解を得て身体拘束を行っており、個別支援計画にも記載している。		適時見直しを実施する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	適時対応している。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	適時対応している。		